

令和5年市長と語る！ふれあいミーティング

会場：名栗地区行政センター

日時：令和5年5月22日（月）午後7時～

《会場での主なご意見等》

【ご意見①】

ふれあいミーティングに初めて出席した。市長からお話を聞き、今まで飯能市政についてなかなか関心を向けることがなかったが、この機会をいただき大変関心が高まり、興味が深くなった。

名栗に住むものとして、名栗、原市場地区に移住者が増えることは、私たち子育て世代にとっては、この地区がこれからも続くという意味で安心感に繋がる。市外からの移住者が増えることは飯能市にとっても望ましいことではないかと考えている。そのために私たちができることは何かと考えた時に、名栗幼稚園や名栗小学校のような山間地区での初等教育が守られて、盛り立てていく。僕らが守り、盛り立てていくことが、市政への協力を繋がるのではないかと考えている。また、未来の飯能市を考えて、市民と市政が同じ方向に向いていくことが望ましいと考えている。飯能市政として、市長から市民、子育て世代に望むこと、僕たち子育て世代が協力できることは、どのようなことがあるのかお聞かせいただきたい。

【回答】

子育て世代に望むこととして、まずは子どもたちが安心・安全に育つように見守っていただきたいことです。また、一人でも一世帯でも多くの方に移住してきてほしいと思います。つきましては、飯能、名栗の良さを知る皆様がご友人や市外の方々にPRしていただきたいと考えます。そういったことがどんどん輪になってそれによってつくられる大きな輪が山間地域に広がることが地域にとっても効果的な事だと考え、行政においても取り組んでいるところであります。

【ご意見②】

名栗幼稚園の活動は、都内に住む人からも、羨ましがられるような内容であるので、今後も積極的に外に向け広め、協力していきたいと考える。

【回答】

ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

【ご意見③】

昨年5月に、知り合いの3歳と4ヵ月になる二人のお子さんを持つ30代の若いご夫婦が飯能市に転入してきた。先日、お子さんが発熱し、市内の小児科に電話で問い合わせたが、「予約でいっぱい」等なかなか受け入れてもらえなかった。仕方なく以前住んでいた地域の病院に連絡したところ対応してもらえるということで、車で1時間かけて受診し、現在は元気に幼稚園に通っている。そのような状況に、お母さんから「引っ越して来るんじゃないかった…」という言葉が漏れ、とても悲しい出来事であった。このようなことも踏まえ、ぜひ小児科、特に発熱外来の医療体制の充実をお願い

したい。安心して受診できる環境が整えば、移住しようとする人も増えるのではないかと考える。若い人たちに向けた、移住支援にもなると思うので是非ともお願いしたい。

【回答】

コロナ禍においては、かかりつけ医以外の医療機関に受診することは難しいところもあったとは思いますが、どういういきさつでそのような対応になったのか、確認してみませんかと答えられませんが、市としても保健センター、医療政策室等で確認したいと思います。また、医師会との関係もありますので、それを含め確認させていただければと思います。窓口がいっぱい手で回らなかった、急患の対応等、病院の方も色々な状況があったことと思います。今ここで、お約束、お答えはできませんが、調査が可能であれば確認させていただきたいと思います。

【ご意見④】

名栗幼稚園送迎バスの延長を求める会の要望に対しての市長の対応に感謝している。本日、名栗地区の皆様にお伝えしたい。私の子どもが以前、名栗幼稚園に通っていた。在園児の保護者にとって、名栗幼稚園は大切な場所。自然豊かで素晴らしい環境で教育を受けることができる幼稚園である。沢山の方々に名栗幼稚園を知っていただき、皆さんの選択肢の一つとして選んでいただきたい。市政の結果により移住者も増えている。飯能市で子育てをする人に名栗幼稚園を選んでもらうには何が必要か、市長の考えを聞かせていただきたい。

【回答】

まずは人口が増えることが必要であると考えます。それを達成するには行政だけでなく市民の皆様の協力が必要であります。名栗の良さを知っている人からの言葉が一番効果的であると考えますので、積極的にPRをお願いしたいと思います。その輪が広がることがまさに理想的であります。移住の方法については、空き家の利用、新規に土地を求めての移住等の形もあると思います。名栗幼稚園をはじめ、地域を愛してもらえることはとても有難い話でございます。一人でも多くの方に移住していただくことが大事であると考えます。ただし、名栗幼稚園の送迎バスの延長の問題につきましては、以前お話をさせていただきましたとおり、民業の圧迫という点が問題でありまして、今は解決が難しい状況であります。これにつきまして、解決が可能であれば今後、検討、研究が始められるかと思っておりますのでご理解をいただきたいと思います。

【ご意見⑤】

市長のお話を聞き、災害に強いまちづくり、自然災害についてお考えいただいていることが分かった。6月4日に土砂災害・全国防災訓練が行われるが、本当に災害時に役立つ訓練が行われているだろうか。ハザードマップに載っている避難所に避難できるとは限らない。自主防災組織はあるが、台風19号の際にも自主防災会が機能していたとは思えない。東日本大震災の時に「釜石の奇跡」と言われる行動があったが平時に訓練を行っていなければ災害時に対応できるわけがない。例えば、チェックリストを作成し、「自宅の裏に急斜地がありますか」「あなたは何歳ですか」「歩いて移動できますか」等、自身で診断を行い、自分の危険度を認識し、住民の意識を高めなければ対応できない。台風19号の際には、山の中に行くといよいよ状況になってい

た。自分たちの危険度を知ることが必要である。住民が実感としてここは危険だと理解できるような、取組の見直しをお願いしたい

【回答】

素晴らしいご提言ありがとうございます。実際に身に起こることと想定した訓練とは違うということは十分承知しております。訓練につきましては、実際の災害に対しどのような想定をして訓練に備えるかが重要であると考えます。災害の現状は刻々と変化するため、それを想定しながら訓練に当てはめるということを現在行っております。数年間、コロナ禍の影響により訓練ができていないのが実情であるため、6月4日の土砂災害・全国防災訓練の他に、自主防災会を中心とした訓練を行っていきたいと考えております。また、地震だけでなく、台風の大型化によりいつ局地的な豪雨があるか分からない状況でもありますので、一人の犠牲者も出さないために訓練は必要不可欠であり真剣に取り組んでまいります。その中でご意見等につきましてお聞きすることがあるかと思いますが、その際はご協力をいただきたいと思います。

【ご意見⑥】

防犯体制についてお願いがある。飯能市は、安心安全なまちづくりを掲げていると思うが、現在、全国的に凶悪な事件が発生し、最近では狛江市や美杉台でもそのような事件が起こっている。以前はこの地区も平穏であったが、去年は地区内で2件の空き巣被害があり、私自身が警察へ通報した。2件とも長期入院中のため留守であった。見守りをしていたが被害が起きてしまい、地域としても、とてもショックを感じている。現在、単身世帯、中でも高齢者の女性の一人暮らしが増えている。防犯については、電話対応、玄関モニター、防犯カメラ、個人で対応すべきところもあるが負担も大きいので、検証のうえ、市の助成金を含めた防犯体制の徹底をお願いしたい。猿による害獣被害対策については、市の対応により地域と連携し大きな効果をあげる成功例となっている。ぜひ、防犯対策についても対応いただきたい。

【回答】

飯能市においても前々から防犯対策を行っていますが、最近では、市内でひき逃げ事件や凶悪な事件なども起きております。市民の方が安心した生活を送れるように、防犯には特に力を入れて取り組みたいと考えております。防犯カメラの設置も、一つの方法であり、担当課にて、どのような対応ができるか、基準等について検討、研究を重ねております。同時に防犯カメラの利用につきましてはプライバシーへの配慮についても考えなければなりません。また、見守りににつきましては、郵便局と協定を締結させていただくなど、色々な公共的な業務を受け持っている事業者等に依頼をして、各ご家庭を回って確認をしていただくことも一つの方法であると思います。いずれにしても、根本から検証をさせていただき、どのようなことが効率的、効果的なのか早速取り組んでいきたいと思っております。

【ご意見⑦】

飯能市役所の色々な課の窓口で顔を出した時に、職員の態度が非常に良い。ものすごく接する態度が良い。しかし、行政処分や法律行為をする部署において、職員の入れ替わりが激しく法的知識、専門知識に浅い。これは飯能市に限らないことだが、役所のシステムとして入れ替わりが激しい。知識がなく法的処分を行う課において、責任、危機管理能力が欠如し、処理する能力が育たない。本日のように、地域の意見をくみ上げては活かすことができない。特に、開発審査会については専門的な資格も必要なく知識が積みあがっていない。

阿須山中の件について、グラウンドの部分は調整池にすべきと指摘していた。市はこのことについて、行政処分をしていない。市長は見直しをすると言っていたがどうなっているのか。

【回答】

阿須山中の件につきましては、それぞれの部署において検証を行い、法律上、反しているものはないと判断いたしました。また、見直しますということは私は一切言っておりません。法的に支障があったり、問題があった場合には見直しましょうということとは言ってきました。とにかく着手して即見直すということは一切触れていませんのでご承知おき願いたいと思います。

職員の関係ですが、職員も日常色々な問題でその都度その都度、法律的な解釈もさせていただいたり、勉強も当然しております。ですから、飯能市役所、飯能市だけではないというお話ですけれども、少なくとも飯能市の職員は常日頃勉強して、市民生活に支障がないように取り組んでいることはご理解いただければと思います。